



▲目に見えない風をレーザー光で可視化

風が強い柏崎は最高の環境
新潟工科大学で、風と建物や都市との関係の研究をしている富永教授。もともと建築を学ぶうちに環境や風土に興味を持ったことから、現在はその場所に吹く風がどんなメリット・デメリットをもたらすか、風を利用できるかなど、建築にとどまらず風に関する幅広い研究をしています。風が吹くことで、人が転んだり、商売に影響したりすることもあります。海と山に囲まれ

Case No.17

「風」の特性を知り、安心や安全、価値を生み出す

新潟工科大学
都市環境・風工学研究室

風の流れを
新型ウイルス対策にも活用
昨年、富永教授は「都市建築における風雪環境の高度シミュレーション技術の開発」で新潟日報文化賞を受賞。風だけでなく雪も含めた技術が珍しいと高く評価されました。昨今の新型コロナウイルス対策でも「換気が大切！窓を開けましょう！」と言われていますが、風の性質を見極めて、暖房との効率や人間の快適性などを追求することも今後の富永教授の研究対象です。風は、目に見えないのでわかりにくく、場所

た柏崎は研究テーマに最高の環境で、強風が理由で通行止めになる「米山大橋」は全国でも珍しい場所だそうです。
風・流体工学研究センターの設立
2018年に文部科学省の私立大学研究ブランディング事業の一つとして、『風・流体工学研究センター』が設立されました。新潟工科大の開学当時からある国内最大級の大型風洞実験装置を活用し、ここから新しいアイデアや価値がどんどん生み出されています。また、「風研(かぜけん)」という活動では、学生が中心となって実験室の公開やイベントへのブース出展などを行っています。

Key Person

都市環境・風工学研究室 富永 禎秀さん
とみなが よしひで 教授

市民の皆さんにひとこと

柏崎は風が強いので、困っている方やその風を利用できたらいいなと思っている方がたくさんいらっしゃると思います。目に見えない風と戦っている方もあきらめている方も、ぜひ大学へご相談ください！



と時間で大きく変化し、測定もなかなか難しいものだと思います。私たちや柏崎にとって身近な存在の風をテーマに、街づくりや建築物の設計を通じて、社会に貢献していきたいそうです。

新潟産業大学からのお知らせ

「春のオープンキャンパス」のご案内
春休みに「春のオープンキャンパス」を開催します。本学に興味のある高校生や受験生の方は是非ご参加ください。
●開催日時：2021年3月20日(土) 10時30分～12時55分(終了予定)
●内容：学部・学科概要説明、入試・奨学制度概要説明、キャンパスツアー、在学生との個別相談など。
●申し込み：3月17日(水)までに電話・Eメール・ホームページ。
●お問い合わせ：入試・広報課
電話：0120-1787-1124



※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、変更となる場合がございます。

新潟工科大学からのお知らせ

学内フォトコンテストを開催
今年度、開催できなかった工科大祭に代わるイベントとして、学生会がフォトコンテストを実施しました。学内で撮影された写真約70点の応募があり、学生、教職員による投票の結果、1年生の柄澤瑞照(からさわみずき)さんの作品がグランプリに輝きました。

